

第2期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (計画期間 令和3年度～令和7年度)

総合戦略に基づく施策の 令和6年度取組状況等について

1. 西尾市の人口動態

1. 推計人口

令和6年10月1日現在の西尾市の人口は167,145人で、1年前と比べて762人減少した。

	H22年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	前年比
総人口	165,298	167,990	168,743	169,352	169,592	169,984	169,046	168,591	168,209	167,907	167,145	▲ 762
0～14歳	24,617	24,236	24,188	24,222	23,881	23,559	23,652	23,416	23,071	22,658	22,097	▲ 561
15～64歳	105,941	103,106	102,913	102,796	102,616	101,659	101,835	101,266	101,137	101,181	100,847	▲ 334
65歳以上	34,561	40,211	41,205	41,920	43,050	43,463	43,050	43,832	43,930	44,068	44,201	133
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	77	71	-	-	-
不詳	179	437	437	414	437	437	437	-	-	-	-	-

出典：H22年とH27とR2年は国勢調査（確定値）。R3年以降はR2年国勢調査確定値を基準値とする推計人口（愛知県人口動向調査）

R3年以降については、不詳を補完した値となっています。

R5は65歳以上の区分に、100歳以上の人数を含む

2. 自然動態

令和6年の自然動態は、出生児数が1,106人、死亡者数が2,021人となり、915人の減少となった。出生数は、前年より14人増加し、死亡数は73人増加した。

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	前年比
自然動態											
出生	1,423	1,470	1,412	1,341	1,328	1,252	1,223	1,143	1,092	1,106	14
死亡	1,621	1,555	1,743	1,658	1,668	1,634	1,750	1,945	1,948	2,021	73
自然増減	▲ 198	▲ 85	▲ 331	▲ 317	▲ 340	▲ 382	▲ 527	▲ 802	▲ 856	▲ 915	▲ 59
…①											

出典：愛知県人口動向調査（愛知県統計課）

3. 社会動態

令和6年の社会動態は、転入者数が6,669人、転出者数が6,568人などとなり、153人の増加となった。

令和6年の転入者数は、前年より291人減少した。

令和6年の転出者数は、前年より141人増加した。

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	前年比
社会動態											
転入	5,970	6,619	6,842	7,352	8,025	5,795	5,962	6,853	6,960	6,669	▲ 291
転出	5,556	5,907	6,031	6,729	7,253	6,262	5,905	6,434	6,427	6,568	141
その他増減	306	126	129	▲ 66	▲ 40	▲ 17	15	1	21	52	31
社会増減	720	838	940	557	732	▲ 484	72	420	554	153	▲ 401
…②											

出典：愛知県人口動向調査（愛知県統計課）

自然増減①と社会増減②でみる令和6年の人口増減は762人の減少となった。

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	前年比
人口増減…①+②	522	753	609	240	392	▲ 866	▲ 455	▲ 382	▲ 302	▲ 762	▲ 460

2. 施策の取組状況

【基本目標１】『まち』

地域の魅力を磨き、快適な暮らしができ、にぎわいのあるまちを形成する

多様な交流が生まれるにぎわいに満ち、まちに誇りや愛着を感じながらいつまでも安心して暮らせるまちをつくります。

＜主な事業の令和６年度取組状況及び今後の展望等＞

【にしおマラソン】

第３回大会はフルマラソンの部 6,410 人、5km の部 523 人、2km の部 456 人がエントリーし、令和７年１月に開催した。今年度の新たな取り組みとして、ふるさと納税の返礼品での出走権を設け 88 人の申し込みがあった。市外からの参加者が約８割であるため、引き続きふるさと納税による市税歳入増加と観光地・特産品ＰＲに取り組む。また、フルマラソンへの参加が難しい方に対し、5km の部・2km の部を設け、市民をはじめとした健康増進に取り組む。

【にしお健康ツーリズム】

西尾市観光協会、吉良温泉観光組合やスギ薬局など多くの企業、事業所の連携により、これまでのにしお健康ツーリズムのブラッシュアップを行った。令和７年度は、さらに魅力的なコンテンツを追加し、企業だけでなくより健康志向に特化したメニューを取り入れ、にしお健康ツーリズムの浸透を図るとともに、本市の魅力を広く周知する機会を創出する。

【e スポーツ事業】

デジタルを融合した新たな観光施策のひとつとして、e スポーツを活用した多文化交流プログラム、健康プログラム等のイベントの実施及びe スポーツイベントを開催し、e スポーツの認知度向上や賑わいの創出等に努めた。令和７年度から一社）西尾市スポーツ協会を中心にe スポーツイベントを開催して本市の魅力を伝えるなどスポーツツーリズムを推進する。

【ふるさと応援寄附金制度】

多くの寄附者に関心を持ってもらうとともに、リピーターの獲得につなげるため、訴求効果があり見映えのある返礼品画像の制作・加工、SNS等の活用による寄附者獲得などの取組を行った。

今後の展開として、返礼品の人气がこれまでの高級品から生活必需品にシフトしていることに加え、大都市のみならず、これまでふるさと納税に注力していなかった自治体も中間支援事業者を介してＰＲを強化してきたため、現在では全国 1785 自治体から 70 万品目もの返礼品が提供されるほど競争が激化し、寄附が分散している。そのため、本市の返礼品が注目されるための方策を戦略的に実施していく必要がある。令和６年度の寄附件数 111,907 件、寄附金額 20 億 8,138 万 5,648 円。

【危険箇所のLINE通報機能追加事業】

令和5年9月に市LINE公式アカウントに機能を実装し、道路・公園・河川・水路・動物死骸発見の5つのカテゴリについて市民からの通報(情報提供)を可能とした。また、通報内容は市内GISにも自動で連携され、担当課が対応状況の管理に活用している。今後は利用増のため、通報カテゴリの追加も検討する。

【R6実績】月平均：54件、申請合計：650件

【行政手続きのスマート化事業】

令和4年9月1日から「スマート申請」の運用を開始し、諸証明の申請における交付手数料等のオンライン決済にも対応している。令和6年度は大腸がん検査キット購入申込や長期優良住宅認定申請などに対応しており、今後も更なる利用の増加を図るため、対象手続きの拡大に取り組む。【R6実績】月平均：約110件、申請合計：1358件

【書かない窓口システム導入事業】

令和6年2月から、マイナンバーカードのICチップ情報や運転免許証等の券面読取情報を利用した、証明書交付、申請書作成支援及び手続案内する「らくっと窓口」サービスを開始。R6.6月から住民異動手続き後に二次元バーコードを配付し、他課の手続きでも住民異動情報が引き継げるようになった。今後は更なる利用の増加を図るため、新たな機能(事前申請、来庁予約)を追加し申請件数の増加を目指す。【R6実績】証明書交付(2種類)：1,692件 申請手続き(100イベント)：16,950件。

政策目標指標

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値			
	R1	R7	R3	R4	R5	R6
交流人口 (観光入込客数)	352万人 (R1)	450万人 (R5)	264万人	349万人	417万人	408万人

KPI(重要業績評価指標)

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値			
	R1	R7	R3	R4	R5	R6
佐久島交流人口	106,000人 (R1)	120,000人 (R7)	81,777人	79,816人	75,000人	67,831人
成人の週1回以上のスポーツ実施の割合	46.7% (R2)	50% (R6)	—	52.1%	—	49.4%

にしおマラソン 参加者	4,259 人 (R1) (※1)	7,000 人 (R7)	4,190 人 (オンライン イベント エントリー 含む)	0 人 (開催せ ず)	6,014 人	7,389 人
国内トップレベ ルの大会開催数	2 大会 (R1)	4 大会 (R7)	3 大会	0 大会	2 大会	0 大会
観光用 Wi-Fi ア クセスポイント 数	56 か所 (R1)	70 か所 (R7)	48 か所	41 か所	37 か所	37 か所
外国人宿泊者数 (吉良温泉)	18,428 人 (R1)	20,000 人 (R7)	219 人	638 人	2,556 人	—
ワーケーション プラン利用人数	0 人/年 (R3)	10 人/年 (R7)	1 人×2 日 2 人	0 人	50 人/年	2 人
観光協会ホーム ページアクセス 数	592,732 件 (R1)	800,000 件 (R7)	632,030 件	661,913 件	830,228 件	910,618 件
名鉄西尾・蒲郡 線年間利用者数	3,324,568 人 (R1)	3,494,000 人 (R7)	2,787,326 人	2,946,952 人	3,063,661 人	3,066,298 人
コミュニティバ ス年間利用者数	119,198 人 (R1)	180,000 人 (R7)	186,111 人 (内いっ ちゃん 2,745 人)	213,776 人 (内いっ ちゃん 3,474 人)	243,524 人 (内いっ ちゃん 3,126 人)	249,280 人 (内いっ ちゃん 3,097 人)
いこまいか一年 間利用者数	2,254 人 (R1)	2,300 人 (R7)	5,613 人	6,341 人	6,942 人	7,908 人
ふれんどバス年 間利用者数	304,975 人 (H30.10～ R1.9)	305,000 人 (R6.10～ R7.9)	247,915 人	255,499 人	276,002 人	281,541 人
名鉄東部交通バ ス年間利用者数 (※2)	367,759 人 (H30.10～ R1.9)	368,000 人 (R6.10～ R7.9)	320,860 人	329,381 人	410,689 人	390,315 人
佐久島渡船年間 利用者数	251,000 人 (R1)	260,000 人 (R7)	203,886 人	202,614 人	192,000 人	176,656 人

※1 令和元年度の一色マラソン参加者数 (※2) R2.4 の一部廃止路線除く

【基本目標２】『ひと』

次代を担う子どもの育成と、多様な人材の活躍を推進する

若い世代が結婚や出産に希望をもち、子育てを楽しめるまちをつくとともに、多様な人材が活躍できるまちをつくりまします。

＜主な事業の令和６年度取組状況及び今後の展望等＞

【結婚支援事業】

令和６年度は対面式の婚活イベント「にしお de 婚活」を２回開催。マッチングアプリセミナー、結婚相談所相談会を設けた。令和７年度以降は引き続き対面式の婚活イベント「にしお de 婚活」をはじめ、市民の結婚への積極的な意識や行動を育む機運の醸成に向けた様々な取組を実施していく。

【子育て世代包括支援センター事業】

妊娠期から就学前までの子どもとその保護者に対して、さまざまな相談に切れ目なく対応している。また、関係機関との連絡会議を定期的に行い、情報共有を図りきめ細かい支援を実施。連絡会議は１２回／年、検討件数は延べ１４２件（令和７年度から、こども家庭センターにて実施）

【子ども医療費支給事業】

子どもの通院については１５歳の年度末まで、入院については１８歳の年度末まで保険診療による医療費の自己負担分を助成する。今後、通院についても１８歳の年度末までの助成を検討。

【子ども食堂運営費補助】

子ども食堂を運営する団体を支援するため、運営費補助金を交付した。令和６年度の交付団体数は８団体、交付総額は１,１５２,０００円。今後も、子ども食堂の運営状況を把握するとともに、補助金の交付を継続していく。

【寺子屋にしお推進事業】

取組状況：小学１年生から３年生までの児童を対象として、ふれあいセンター、寺院などの施設を利用し２６小学校区中、１４小学校区（１３教室）で実施し、全教室で年間７５１日を開催し、延べ７,８６３人の児童が参加した。

今後の展開：ふれあいセンター、寺院等の地域の施設を活用し、子どもたちの安心・安全な居場所を設け、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。

【学校と家庭をつなぐ連絡システムの導入】

【取組状況】

- ・「すぐーる」により、学校からのお知らせや不審者情報などを保護者のスマートフォン等に配信した。また、欠席・遅刻連絡機能、アンケート機能を利用することで、教員・保護者双方の利便性向上と負担軽減を図った。
- ・これまで「紙」で配布していたイベント等のチラシを、「デジタル配信」に変更した。

【生涯学習センター（仮）建設事業】

取組状況：生涯学習センター（仮称）建設工事を実施するため、実施設計等を行った。

今後の展開：令和7年度及び8年度の2か年で建設工事を実施する。令和9年4月の供用開始を予定。

政策目標指標

各年1月1日～12月31日

指標	基準値	目標値	実績値			
	R1	R7	R3	R4	R5	R6
年間出生数 【住民基本 台帳登録】 (※)	1,367 人 (H30)	1,400 人 (R7)	1,218 人	1,102 人	1,122 人	1,099 人

(※) 外国人の出生を含む

K P I（重要業績評価指標）

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値			
	R1	R7	R3	R4	R5	R6
合計特殊出生率	1.54 (H26～H30 平均値)	1.58 (R7)	1.44 (R2)	1.45 (R3)	1.31 (R4)	1.27 (R5)
出産祝い金の受給者数	1,286 人 (R1)	1,400 人 (R7)	1,216 人	1,107 人	803 人	1,088 人
放課後児童クラブの待機児童数	32 人 (R1)	0 人 (R7)	0 人	0 人	0 人	4 人
図書館貸出カードの登録率(18歳以下の子ども)	40% (R1)	60% (R7)	54.2% (人口は R4.4.1 現在)	55.8% (人口は R5.4.1 現在)	57.9% (人口は R6.4.1 現在)	64% (人口は R7.4.1 現在)
参加人数(マルチ・カルチャー・キャンプ in 佐久島)	0 人 (R2)	50 人 (R7)	0 人	0 人	0 人	0 人
寺子屋にしお開設数	12 教室 (R1)	13 教室 (R7)	11 教室	12 教室	12 教室	13 教室

【基本目標３】『しごと』

地域の特色を生かした稼ぐ地域の形成と安心して働ける場を維持・拡大する

市内に十分な雇用の場があり誰もがいきがいを感じて働くことができるまちをつくります。

＜主な事業の令和６年度取組状況及び今後の展望等＞

【海外販路開拓事業】

台湾で行われた台湾国際旅展（ITF2024）に参加し、愛知県を通じて西尾市のプロモーションを行った。令和７年度以降は、訪日旅行者に対して YouTube や SNS を通じたプロモーションを行っていく。

【新規就農者等支援事業】

就農直後の経営確立を支援するために、令和４年度以降に経営開始した者には、経営発展支援事業として上限 1,000 万円（3/4 補助）、または経営発展支援事業として上限 500 万円（3/4 補助）及び経営開始資金として年間 150 万円を最長３年間交付する。令和３年度以前に経営開始した者には、年間最大 150 万円を最長５年間交付する。令和６年度は事業対象者 18 名に対し 31,792 千円を交付した。

【スマートアグリシティ西尾構想の推進】

JA 西三河きゅうり部会で取り組んだスマート農業を応用した技術をいちごへ横展開し、省エネ化による農業経営の安定や新たな担い手への ICT 技術を活用した技術継承を促進しています。

【企業立地支援のための補助金等交付事業】

市内に工場等の新設又は増設をしようとする企業に対し、工場等建設奨励金（18 社 140,212 千円）、雇用促進奨励金（4 社 13,700 千円）、企業再投資促進補助金（1 社 113,344 千円）を交付した。

【企業立地プロモーション事業】

愛知県産業立地セミナー in 大阪（８月）及び東京（11 月）に西尾市の立地促進パンフレットを配置することで、関西圏、首都圏の企業に本市の企業立地を PR した。

引き続き、地域経済の厚みづくり、地域に根ざした企業を増やすため、企業立地 PR を推進していく。

【中心市街地活性化事業】

官民一体となって策定した「にしおまちなか未来ビジョン」に基づき、公共空間活用の社会実験の実施や飲み歩きイベント等のまちなか市民プロジェクトにより、多くの市民や団体を巻き込みながらまちなかの賑わい創出を図った。

【デジタル格差解消事業】

取組状況：包括支援センターの１地区で開催（１回）、「シニアパソコン教室」や、誰でも参加可能な「生活に役立つアプリを学ぶスマホ講座」、子ども対象「プログラミング教室」などを開催した。

今後の展開：市民ニーズを把握し、時代にあったICT活用技術習得の場を提供できるよう、デジタル格差解消に向けた支援を行う。

政策目標指標

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値			
	R1	R7	R3	R4	R5	R6
製造業の従業者数（従業者4人以上の事業所） 【工業統計】	40,950人 (R1)	48,750人 (R7)	40,500人 (R2)	36,213人 (R3)	33,850人 (R4)	33,630人

※R4より「工業統計調査」は2022年より「経済構造実態調査」の一部として実施

KPI（重要業績評価指標）

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値			
	R1	R7	R3	R4	R5	R6
特産品による新商品開発数（累計）	11件 (R1)	16件 (R7)	13件	13件	14件	16件
東京での物産展における西尾市の認知度	42% (R1)	50% (R7)	42% (R1)	56.3% (R4)	—	—
事業承継支援実績（累計）	15件 (R1)	27件 (R7)	10件	10件	11件	16件
展示会出展数（累計）	50件 (R1)	65件 (R7)	2件	2件	6件	11件
販路拡大の商談数（累計）	70件 (R1)	90件 (R7)	11件	11件	26件	28件
創業支援事業に基づく創業者数（累計）	79人 (R1)	140人 (R7)	25人	25人	41人	57人

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (7年3月末時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
スポーツを核とした健康まちづくり事業	②フルマラソン大会等の開催による健康づくり事業 生活習慣病のリスクが低い方に対して、運動習慣を身に付けてもらい生活習慣病を予防できるよう、ポピュレーションアプローチの一環として、また、本市が健康づくりのまちとしてPRしていくためのシンボリックイベントとしてフルマラソン大会を開催する。大会は市内外からの一般参加が可能で、かつ、県内では現時点で本市のみの開催となる男女同時参加の公道を使用したフルマラソン大会として開催する。開催は、民間団体と連携した実行委員会を設立し進めるとともに、大会の開催に合わせて、地元商工業団体と連携し、県内外から訪れる大会参加者に西尾市の地場産品等のPRを行い、市内消費の増加を図る。	129,569,938円	補助金 129,569,938円	フルマラソン参加者数（市民） 市外からのマラソン参加者数	1,150人 4,600人	623人 5,148人	令和7年1月に開催した第3回大会には、全国45都道府県から約7,400名のランナーが参加（フルマラソン、5km、2kmの全エントリー数）。うなぎや抹茶といった市の特産品を味わえるエイド、市民や市内事業所による応援等を実施し、西尾市ならではのマラソンを開催。	遠方より多くのランナーに参加していただき、ランナー向け大手口コミサイトにおいて、同時期開催のマラソン大会の中で全国9位の評価を得るなど、市内外でにしおマラソンが周知され、県外からの参加者に本市の特産品のPRが果たされているとともに、市内消費の増加につながっている。	市民が積極的に運動を行う動機付けや市民の健康づくり支援のため、市民マラソン参加者を増やすための施策（5km・2kmコースの設定、市民向けランニング教室等）を引き続き継続していきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (7年3月末時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
スポーツを核とした健康まちづくり事業	スギ薬局と連携し、企業等における健康診査などにおいて、健康上のリスクのある人（特定保健指導の対象者及び対象にならないがリスクの高い人）を対象に、市内の温泉や抹茶等の食の資源を活用した健康プログラムを企画開発する。また、企画開発したプログラムを組み込んだモニターツアーを実施し、プログラムの検証と改善を図るとともに、観光事業者と連携して健康ツーリズム商品としての販売拡大を目指す。	1,650,470	コンテンツ制作費	611,910	健康ツーリズム参加者数	75人	民間企業と連携を図り、生活習慣病予防を目的として、市内の温泉旅館（吉良温泉）にて健康体操や健康料理の提供など健康指導を行うプログラムを開発。令和5年度に行ったアンケートをもとに、ツアーコンテンツのブラッシュアップを図り、ツアー販売を実施した。ツアーの浸透を図り、健康経営企業に積極的に取り入れてもらうため、一部ツアー料金を補助して販売した。ツアーコンテンツは、吉良温泉の効能の説明と入浴、食事指導の他、市内の観光資源を活かし、吉良エリアの豊かな自然の中を散策しながら好きな場所で自ら抹茶を点てて飲む野点を取り入れ実施した。	令和5年度よりも早い段階で告知を展開し、周知に努めることで、参加者の増加につながった。民間企業と連携したプログラムとしたことにより、事業者の持っている健康相談のノウハウや健康機器を活用することができた。また、吉良温泉と連携し、温泉特有の環境を活用することで入浴や食事、自然の中を散策するなど、体験型メニューを組み入れることで行動変容を促すプログラムを実施できた。世界的にも注目を集めている抹茶の体験と「西尾らしさ」をツアーに組み込みたいと考え、抹茶の野点を取り入れた。このことから、健康への効能が期待される西尾の抹茶や自然豊かな景観が売りの吉良温泉のPRにつながるるとともに、手軽に楽しむことができる抹茶の野点体験などを通じて、「リフレッシュ体験」と「健康増進」を併せ持つプログラムを作成することができた。さらに、令和6年度は、睡眠計を取り入れ、宿泊を伴う健康プログラムとして、よりブラッシュアップすることができた。	健康経営に力を入れている企業において、健康経営や福利厚生の一環として、造成したツアーを活用していただけるよう積極的にPRを行っている。また、アプリの活用など参加者が参加後に継続できるような新たなコンテンツの追加など、魅力的な新商品の開発につなげる。告知についても、健康ツーリズムに関心を持つ企業へ積極的なPRを行うとともに、ツアーに対するニーズ調査を継続して実施する。
			健康ツーリズム広告宣伝費	648,560					
			健康ツーリズム参加者助成費	390,000					

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (7年3月末時点)	実施内容	事業評価	今後の方針	
デジタルマーケティングによる観光プロモーション事業	多くの旅行者が旅先で行う情報収集や予約行動は、インターネットを活用し行っている現状から、旅行者のニーズをより的確に把握し、効率よく消費行動などにつなげるため、デジタルを戦略的に活用する事業を展開する。訴求力の高い観光コンテンツを組み込んだ動画を作成し、効果的かつ効率的な広告配信を行うとともに、動画広告等に対する視聴者の反応やニーズ等を可視化するための調査分析を行い、そこから得られた結果を今後の観光施策にフィードバックすることで、観光事業の精度をさらに高めていく。	30,000,000	EBPM（根拠に基づいた政策）による観光プロモーション業務	14,300,000	本事業で造成したツアーの参加者数・宿泊者数	100人	183人	【EBPMによる観光プロモーション業務】 令和5年度に作成したPR動画の分析から得られたビックデータより、訴求力の高いコンテンツの動画を再編集・作成し、Meta、YouTubeなどで配信する 【EBPMによるツアー造成実証業務】 デジタルマーケティングのテーマである認知と送客につながるよう、前年度のアクセス分析に基づく西尾市の観光資源を生かしたツアーの造成 【ユニバーサルツーリズム推進業務】 西尾市観光協会の公式サイトを再設計し、ユニバーサルツーリズムの推進に向けた多言語化、SNSを活用した動線を作成するとともに、観光事業者等を対象としたスキルアップセミナーを実施し、受入環境の整備を行う	西尾市の観光資源である佐久島、うなぎ、抹茶という訴求効果が高いと分析されたコンテンツをテーマに新たに4つのツアーを造成し、MetaなどSNSでの配信を行ったところ、想定以上の結果につながり、目標以上の集客につなげることができた。 また、前年度の観光ターゲットとしてタイや台湾へのMeta等SNSでの配信を実施したところ、国内と比較しても高いクリック率を得られ、特に抹茶については非常に高い関心が得られるなど、本市の観光資源を客観的に分析することができた。 受け入れ環境の整備ではインバウンド向けの対応として、西尾市観光協会のHP上に初心者向けLP（ランディングページ：SNSなどから最初に訪れるページ）を整備し、多言語化（日本語 英語 簡体 繁体タイ）を行った。観光事業者を対象にインバウンドおもてなし研修を開催し、アーカイブ化することで、インバウンドへ対応力の向上を図った。	事業初年度の令和5年度は、西尾市が保有する観光資源のうち、観光市場のニーズにマッチしたコンテンツを可視化するためにテストマーケティングを実施。 その結果をベースに、令和6年度は、実際に誘客に繋げるための新たなツアーイベントを造成するとともに、うなぎや抹茶を始めとした「グルメ」を軸に、アクティブユーザーが多い縦型動画（主にMeta）を中心とした動画広告配信を平行して実施したことで、より一層、観光誘客を獲得することができた。 令和7年度は、事業の集大成として、これまでに開発したツアーのブラッシュアップを図るとともに、海外において訴求力の高いコンテンツを活用したインバウンド向けツアーの造成や充実、SNSを活用し効果的かつ効率的な告知を行っていく。
			EBPMによるツアー造成実証業務	13,500,000	SNS広告等からの本市観光ページへのリーチ数	250件	465,647件			
			ユニバーサルツーリズム推進業務	2,200,000	YouTubeにおける動画再生回数	20万回	5,358,248回			
					首都圏における本市の認知度（アンケートにより実施）	42%	57%			

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (7年3月末時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
eスポーツを活用した地域活性化事業	スポーツツーリズムの一つとして、eスポーツチームの誘致、eスポーツ大会の開催等を通じて、西尾市に訪れるプレイヤーや愛好家、見学者を増やすとともに、誰もが参加できるユニバーサルスポーツでもあるeスポーツを活用して、外国にルーツのある子どもたちが参加できる活動の場を提供し、多文化共生を推進することを目指す。更に、脳の活性化が期待できる高齢者向けのプログラムを提供し、高齢者を中心に健康寿命の延伸や障がい者スポーツの推進を図り、誰もが暮らしやすいまちづくり推進を目的とする。	35,393,160	企画及び実施計画の策定	3,300,000	eスポーツイベント・大会の参加者数	1,000人	【多文化交流プログラム】 外国にルーツを持つ学生の交流を目的に多文化ルームKIBOUでeスポーツ大会を実施し、多文化交流プログラムを実施 【eスポーツで交流会】 シルバー人材センターと連携し、高齢者の外出活動の充実や社会的交流の促進につながる新たなアクティビティを提供するプログラムを実施 【パズルゲームプログラミン グ&eスポーツ大会！】 ふれあいセンターで開催されている体験講座のプログラムとしてワークショップを開催し、eスポーツの認知を広めるとともに、他世代間の交流を図る 【eスポーツ大会開催運営】 令和7年2月1日、2日にプロ・アマ問わず参加できるeスポーツ大会イベントを実施	多文化ルームKIBOUでの非言語交流を図るイベントやワークショップを開催し、コミュニケーションツールとしてのeスポーツの効果の高さを感じた。 eスポーツで交流会では、高齢者向けイベント内でシルバー人材センター会員向けコンテンツとしてワークショップを開催したほか、シルバー元気教室にて体を動かすeスポーツタイトルによる体験会の実施など、eスポーツへの理解を深めることができた。 eスポーツ大会開催運営では、事業の中心となる大会の開催や、初心者だけでなく、子どもから高齢者など幅広い年代が体験できるサブイベントを開催した。参加者のアンケートでは非常に満足度が高く、スポーツツーリズムの一形態として可能性を感じた。	3年間の事業を終え、eスポーツは少しずつではあるが着実に生活の中に根ざしつつある。大会の規模など経費も大きくなりがちとなることから、継続的な大会の実施については今後の課題となっている。 当該事業に取り組んだことで、市内でもeスポーツの普及啓発活動を実践する市民主体の団体も出てきている。事業の取り組みを機に市民への理解が深まっていることから、引き続きeスポーツを活用した活性化に向けて団体等への支援などを検討していく。
			実証ワークショップの開催	2,200,000	eスポーツ実施グループ・団体数	10団体			
			eスポーツ大会開催運営	29,893,160	eスポーツプログラム開催回数	30回			
					eスポーツプログラムへの高齢者・障害者・外国人の参加者数	180人			

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (7年3月末時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
スポーツを核とした健康まちづくり促進のための拠点施設整備計画	プロスポーツをはじめとした大規模大会を誘致できるよう西尾市総合体育館の観客席を増設し、大規模大会、広域大会等のイベント誘致を行い観戦者を増加させ、市外からの来訪人口を増やす。 本施設は国道23号線（岡崎バイパス）のＩＣから車で約２分の立地であることから、この開催に合わせて同バイパス沿いの道の駅「にしお岡ノ山」と連携し大会とのコラボイベント企画等を行うことで、道の駅にも来訪者を誘導することができる。このような観光資源を組み合わせたスポーツツーリズムを作り出すことで観光入込客数の増加や知名度の向上につなげる。 また、トップレベルの大会を観戦することで市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツ実施率の向上につなげ、体育館の利用率の向上と市民の健康寿命の延伸を図る。	142,230,000	工事請負費	西尾市総合体育館の利用者数	0人	28,285人	未実施	令和6年度（2024年度）は、令和8年度（2026年度）開催のアジア競技大会での利用に向け、メインアリーナ天井耐震改修、LED改修、空調改修、バリアフリー化工事等の大規模改修工事を実施するため、施設の一部が使用不可になることから、KPI増加分は0としている。 ただし、年度当初から予定していた各種改修工事の施行時期を9月にずらしたことにより、夏季開催の大会等を実施することが出来たため、前年度には及ばないものの利用者数を確保することが出来た。	大規模改修工事は令和7年10月に完了するため、11月以降に施設の利用者数を増加させるための施策を検討する。また、引き続き、大規模大会の誘致に努めていきたい。
			移動観覧席設置工事		105,600,000				
			備品購入費	国内トップレベルの大会開催数					
			移動観覧席製造						
			計	142,230,000					

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (7年3月末時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
西尾未来共創拠点運営事業	西尾未来共創拠点運営事業では、外部からチーフコンサルタント、専門アドバイザーを配置し、市の直営で事業支援を開始するとともに、各種セミナー等イベントや、事業者間の交流を活発化させるため、コミュニティ形成などを展開する。そのほか、ビジネスプランコンテストを実施し、新規事業提案の機運を醸成する。ビジネスプランコンテスト運営事業では、創業・起業に地域の課題を合わせた事業提案や高校生部門での提案募集を行い、イノベーション創出の土壌を育むスタートを切る	25,700,522	(謝礼) 専門アドバイザー謝礼 3,799,280 セミナー講師謝礼 140,000 (事務事業費) 光熱水費 270,219 通信運搬費 157,702 複写機使用料 359,381 施設借上料 2,400,000 (委託料) 顧客管理システム運用 2,037,440 Webサイト運用保守 400,000 (補助金) 西尾市未来共創補助金 (ビジネスプランコンテスト) 運営業務委託料 7,809,000 (備品) 備品購入費 775,500	地域における新規雇用者数 事業相談数 ビジネスプランコンテスト イベント数	22人 300件 10件 5件	542件 13件 10件	中小企業診断士の資格をもつチーフコンサルタントを始め、各分野の専門家を配置し、事業者の経営課題を伴走型で支援。「明日から使える」をテーマにビジネスのヒントとなるセミナーを開催。新規事業・創業などの支援のため、チーフが認めた費用を補助。新しいビジネスアイデアを持つ人々に起業の機会を提供することで、「起業・創業の機運の醸成」や「地域課題の解決」「地域の魅力発信」「地域経済の活性化」を図ることを目的としたビジネスプランコンテストを開催。	事業初年度としては、予約が1か月後まで埋まるくらいの相談数が入っており、想定を超える相談件数であり、リピート率も8割を超え大変好評をいただいている。相談を重ねたうえで交付決定をする西尾市未来共創補助金についても、新規事業や創業の後押しになっていると評価している。ビジネスプランコンテストも2回目の開催となり、一般応募59件、高校生応募102件とともに注目度の高いイベントとなり、地域のことを考えるきっかけとなるイベントであると評価している。	経営相談は、リピート率から大変好評である反面、新規の相談までの時間がかかってしまうという現状である。チーフコンサルタントに偏っている相談業務を、専門アドバイザーへ繋ぐための配置強化とともに、チーフコンサルタントのサブとして相談業務を受け持つことができるよう人材育成が必要であると考え